



# 駿河台大学 同窓会

SURUGADAI UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION

駿河台大学同窓会報

2022.10.1 VOL.43

発行：駿河台大学同窓会事務局  
〒357-8555 埼玉県飯能市阿須698  
☎042-972-1101  
dousou@surugadai.ac.jp

駿河台大学同窓会ホームページ <https://www.surugadai.ac.jp/dousou/>

## 2022年度 駿輝祭開催について

2022年度の駿輝祭は、10月29日（土）・30日（日）両日とも感染症対策を徹底した上で3年ぶりに対面開催します。

第36回 駿輝祭 「駿大寄席」  
同窓会・父母会共催落語会  
**柳家三三独演会**  
会場とオンライン配音のハイブリッド開催

出演：柳家三三・鏡味仙成(太神楽)・センチネル(漫才)・柳家三三(落語)

2022年10月29日（土）開場12:30 開演13:00  
会場：駿河台大学 第二講義棟4階 7405教室  
入場料無料・事前予約制（先着400名）

### 駿輝祭特別講演会

駿河台大学同窓会・父母会共催落語会 駿大高席 **「柳家三三独演会」**

ゲスト：鏡味 仙成（太神楽師・飯能市出身）、センチネル（漫才/太田プロ）

開催日時：2022年10月29日（土） 開演：13:00 会場：第二講義棟4階 7405教室

※駿輝祭公式Youtubeチャンネルでの生配信も予定

### 第36回 駿輝祭

開催日時：2022年10月29日（土）・30日（日） 10:00～18:00

開催方法：ハイブリッド（対面型・オンライン型（配信））

※入場には事前登録が必要となります。

企画詳細等につきましては、駿輝祭実行委員会ホームページ及びTwitter等で順次ご案内させていただきます。

2022年度 駿輝祭公式ホームページ（運営：駿輝祭実行委員会）

<https://surugadaisyunki.sakura.ne.jp/syunkisai/kousiki/>

駿輝祭公式Twitter（運営：駿輝祭実行委員会）

[https://twitter.com/syunki\\_36](https://twitter.com/syunki_36)

駿輝祭公式YouTubeチャンネル（運営：駿輝祭実行委員会）

<https://www.youtube.com/channel/UCDM71DMoD8Q3RP83NJycChA>

## ～卒業生からの寄稿～ 角中 祥一さん(2007年現代文化学部心理学科卒)

私は現在の心理学部の前身である、現代文化学部心理学科を2007年に卒業した角中祥一と申します。私の経歴ですが、中学生で不登校、卒業後はニート、フリーターを経て大学入学資格検定に合格し、駿河台大学へ入学した時は26歳でした。この年で進学を決意した理由は、自分自身も含めて人間の心理について学びたかったこと、それと同じくらいそれ以上に、これまで経験できなかったことに挑戦したい、私自身がどこまでできるのを知りたいという思いがあったからです。

現役生とは8歳の年の差がありましたが、素直な現役生が遠慮なく接してくれたこともあり、遊びに勉学に充実した大学生活を送ることができました。留学にも挑戦し、2年次にはオーストリアのウィーンへ語学研修、3年次にはドイツミュンヘン大学へ交換留学生として約1年間、海外での生活を体験しました。

帰国後、留学中に自転車旅行をしたことがきっかけで、日本縦断自転車旅行を企画し、学生企画活動支援制度に採用されました。4年次の夏休みに北海道から鹿児島まで3500kmを走破しました。全国で応援してくれる人が多いこと、ご当地CM出演や地元新聞の取材を受けることもあり、支援していただいた大学のPRもしつつ、留学したことで再認識した日本の良さも改めて実感することができました。

卒業後は、在学中に所属していたボランティアサークルで、障がいのある方との交流を深めていた活動が縁となり、障がい者支援施設に就職、介護福祉士として生活支援を行ってまいりました。その後、さらに支援の幅を広げたく看護師を目指し専門学校に入学、現在は看護師として東京都八王子市の精神科に勤めています。

新型コロナウイルス感染拡大は医療現場でも影響が大きいです。感染

対策は入院している患者さんの面会や外出の制限となり患者さんの不利益にもつながってしまいます。

私は、長引くコロナ禍での入院生活にユーモアを交えた関わりをもって、心の安らぐ瞬間を少しでも提供できるよう心がけています。人の心は複雑で難しいものですが、シンプルに笑えることも大切ではないかと思っています。

色々と言いましたが、これまでの経験ができたのは自らのチャレンジ精神や努力、運もあるとは思いますが、それを理解し支援していただいた大学の先生方や職員、友人、家族のおかげだと思っています。社会人として未熟な私を、真剣に指導してくれた先生も、駿河台大学の「愛情教育」そのものであると心より感謝しております。

コロナ禍で様々な分野において困難な中、駅伝部が箱根駅伝に出場し活躍といった、希望あふれる駿河台大学、同窓会のご発展、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。



精神科の看護師として真面目に働いている男の図



駿河台大学に交換留学生で来ていたMargit（左）とDiana（右）とミュンヘンで再会



駿大Tシャツと腕章をつけて北海道を気持ちよく走る男の図

# 2022年度 同窓会総会開催報告

2022年度の同窓会総会は、初となる対面・オンライン（Zoom）併用のハイブリッド形式で開催いたしました。

6月26日（土）13時からの同窓会役員会に引き続き、14時から同窓会総会が開催されましたので、以下のとおりご報告いたします。

※同窓会総会資料は、同窓会ホームページからご覧いただけます。  
[https://www.surugadai.ac.jp/dousou/topics/meeting\\_order2022.pdf](https://www.surugadai.ac.jp/dousou/topics/meeting_order2022.pdf)

## 2022年度 同窓会総会次第

1. 同窓会会長挨拶 新井克明会長
2. 同窓会名誉顧問挨拶 大森一宏学長
3. 幹事紹介
4. 議事(1)～(5)

### 1. 同窓会会長挨拶 新井克明会長

本日は大変お忙しいなか、また対面の方は飯能市内が37度を超える酷暑のなか、2022年度駿河台大学同窓会総会にご出席頂きまして、誠にありがとうございます。

同窓会総会は新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度そして2021年度とZoom

を利用したオンライン開催でしたが、3年ぶりの対面開催が叶うこととなりました。母校・飯能の地で総会を開催出来まして、また皆様とこうして直接お会いできますこと、大変嬉しく思います。

私たち駿河台大学同窓会は、このコロナ禍でも活動を縮小均衡あるいは思考停止させず、オンラインを活用しながら活動を継続することが出来ました。本日の総会も、このように全国からオンラインを通じて会員・同窓生の皆様にご出席頂いており、また一昨年の総会より導入いたしました「議決権行使ハガキ」についても130通を超えてご返送を頂いております。多くの皆様に総会へご出席、またハガキを通じて議事についてご審議を頂いておりますこと、心より御礼申し上げます。

今回はこれまでの知見のもと、初となる対面・オンライン併用・ハイブリッド開催での同窓会総会となります。本日の総会主会場は母校駿河台大学・第2講義棟14階の会議室となりますが、多数のカメラや音響機材をご準備いただき運営にお力添えを頂いております大学職員の皆様、同窓会事務局である学生支援部の皆様にも、この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございます。

さて、母校駿河台大学では、日常の「学び」の環境が少しずつ戻りつつあります。春学期から対面講義が徐々に復活し、秋学期からは基本的に全ての講義での対面が復活するとなっております。後輩たちに一日も早く、私たちが在学中に過ごした「日常」が戻ってくれることを願っています。

この一年で、我が母校駿河台大学では、大きなニュースがありました。まず、創部10年目となる駅伝部が、東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）で往路20位・復路15位、総合では19位と東京・大手町～箱根・芦ノ湖間の全10区間・駿大のタスキを1本でつないでくれました。平成以降の初出場10校で、繰り上げスタートとならずにタスキをつなげたのは、史上4校目のこのことです。1区スタート先頭を取りに行った清野選手・4区5区で中学時代の恩師と生徒がタスキをつないだ今井選手・永井選手、そして10区アンカーではガッツポーズでゴールし、「楽しかった！」と笑顔で言葉を残した阪本選手など、母校の活躍はメディアやSNSでも取り上げられ、記録を残した青山学院大学、そして記憶に残った駿河台大学と大いに盛り上がりました。皆様のテレビの前で、母校の活躍に熱い応援を送られたことと思いますが、後輩たちの活躍に、誇らしい思いを持たれたことと思います。創部10年目の快挙を成し遂げられた駅伝部の徳本監督・出場選手の皆様・部員の皆様・スタッフの皆様に、心より敬意を表したいと思います。引き続き駿足を活かし、活躍に期待するとともに、同窓会では、今後も母校の学びや各スポーツ活動への支援を継続してまいりたいと思います。

そして、忘れてならないのが、同窓生の活躍です。夏に開催された東京オリンピックでは、カヌースラロームで現代文化学部卒の矢澤亜季さん、足立和也さんが、そして冬季・北京パラリンピックでは文化情報学部卒の鈴木猛史さんが見事出場を果たされました。活躍する同窓生への応援・支援も、大切な活動のひとつです。皆様これからも、是非応援頂きたく、よろしくお願い申し上げます。

結びに、本日も報告事項ならびに皆様に審議いただく事項が多岐に

亘りますが、慎重な審議をお願いするとともに、我々同窓会の活動が卒業生の皆様の交流・親睦に寄与し、ひいては母校の発展につながられるようお力添え・ご支援・ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 2. 名誉顧問挨拶 大森一宏学長

学長の大森です。同窓会の皆様には、日頃よりたいへんお世話になっています。今年度につきましては、総会は対面とオンラインの併用ということで、本日は直接、あるいは画面を通して、ご挨拶を申し上げます。同窓会の皆様には、日頃より卒業寄付、同窓会寄付講座、給付奨学金、各種検定試験受験料補助、学生（準会員）との交流事業、学食でのランチ補助など学生の教育、生活、就職にかかわるさまざまな活動へのご支援とご協力を賜りましてまことにありがとうございます。また、昨年度は駅伝部の箱根駅伝本選出場に伴い、「箱根駅伝」応募基金へのご寄付もいただきました。こうした、さまざまなご支援に対しまして、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。



まず、現在の本学の状況からご説明申し上げます。おかげさまで、2022年度においても入学定員を超える入学者を確保し、引き続き収容定員を満たすことができました。また、就職率については95.6%と、コロナ禍以前の水準にはあと少し届かなかったものの、昨年の数値は若干上回ることもできました。残る本学の重点課題である、中途退学の防止については、退学者データの分析・活用を行いながら、経済的支援の充実、学生対応力の強化などに取り組みしましたが、退学者の比率は3.9%となり、目標の3.5%以内を達成することはできませんでした。この点では、やはり本学も、コロナ禍の影響を受けたと言わざるを得ません。

こうした成果と課題をふまえて、本学では引き続き教育の質の向上、就職支援や学生生活支援の強化などに取り組んでおります。とりわけ授業については、十分な感染防止措置をとりながら、可能な限り対面型での授業を実施しています。もっとも受講者が一定数を超える授業などについては、eラーニングシステム「Moodle」などを利用したオンライン型、もしくは対面型とオンライン型を組み合わせたハイブリッド型の授業を導入して、教育の質の維持・向上に努めております。また、地域や企業とのさまざまな活動に参加して、実践的に社会を学ぶアウトキャンパス・スタディなども、安全面に十分な配慮を払いつつ、実施する方針で準備、あるいはすでに授業を進めております。

また、課外活動につきましては、昨年度は駅伝部が念願の箱根駅伝の本選に出場を果たし、櫻を最後までつなぐという活躍をみせてくれました。今年度も、陸上競技においては、関東学生陸上競技対校選手権大会（関東インカレ）において、女子100mハードルで田中きよの選手（スポーツ科学部3年）が2位、また男子5,000mではムサンガ・ゴッドフリー選手（経済経営学部・1年）が2位、さらに女子4×400mリレーで3位入賞を果たすなど健闘をみせました。また、女子ホッケー部は関東学生ホッケーリーグの1部において、春季リーグ3位に食い込みました。

ところで、本学はこれまで、時代の要請に対応しながら、大学に求められる社会的役割を果たすために、「駿河台大学グランドデザイン」（2012～2016年度）、「駿河台大学グランドデザイン2021」（2017～2021年度）を策定し、教育の質の改善や学生の就業力の向上に取り組んでまいりました。今回は、新たに「学校法人駿河台大学中期計画（グランドデザイン2026）」（2022～2026年度）を策定し、引き続き「教育力」「就業力」「学生支援力」「地域力」「研究力」という5つの力にプラスして、予算編成、人事計画などの法人としての要素も取り入れて、駿大ブランドを強化する取組を拡充することになりました。本学は、この新しい中期計画に記されたビジョンとアクションに沿った活動を着実に展開することで、引き続き、同窓会の皆様はもちろんのこと、高校生、教育関係者、地域社会の方々をはじめとするステークホルダーからの信頼を高め、大学の安定的な運営基盤を確立していく所存です。

ようやく、コロナ禍によるさまざまな制約にも一段落がつつある昨今、学生たちは勉学やスポーツなどに、同窓会の皆様のご支援に支えられて、熱心に取り組み、成果をあげています。さらに、現在本学では、コロナ禍の経験を活かした新たな時代の教育や研究の構築に向けて、学生目線に立った改革を進めるべく、全学一丸となって取り組んでいるところです。同窓会の皆様におかれましては、今年度も引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、駿河台大学同窓会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

本日はどうもありがとうございました。

### 3. 幹事紹介

同窓会会則により、特別会員（駿河台大学教職員）の中から役員会において委嘱された幹事6名が紹介されました。

(2022年度)

役職	氏名	卒業年	学部
会長	新井 克明	2000年卒	文化情報学部
副会長	富岡 勇哉	1992年卒	法学部
	廣瀬 尚	1993年卒	法学部
	岡部 浩一	2008年卒	経済学部
会計	中島 俊夫	1995年卒	法学部
	木村 亮平	2012年卒	文化情報学部
会計監査	朝田 淳	2003年卒	文化情報学部
	船津丸 仁	2006年卒	経済学部
委員	桐生 岳	1993年卒	法学部
	市川 紀子	1995年卒	法学部
	長嶋 亮吉	1995年卒	経済学部
	武富 倫代	1996年卒	法学部
	渡部 成人	1997年卒	法学部
	飯塚小姫子	2001年卒	文化情報学部
	三枝 桂子	2006年卒	現代文化学部
	菅家 皓	2017年卒	メディア情報学部
	白坂 優太	2020年卒	メディア情報学部
役職	氏名	所属	
幹事	伊藤 雅道	副学長(入試広報担当)	
	城井 光広	副学長(就職担当)	
	狐塚賢一郎	副学長(学生支援担当)	
	朴 昌明	副学長(教務担当)	
	雷 光一	キャリアセンター事務部長	
	佐藤 功一	学生支援部長	

### 4. 議事

2022年度総会議事に先立ち、オンライン参加をされている同窓生につきましては、駿河台大学同窓会ホームページに掲載している議事資料、及びオンライン画面上に議事資料を確認していただきながらの進行となる旨の説明がなされました。

各議事に関する質疑については対面参加の挙手に加え、オンライン参加ではZOOMのリアクション(挙手)ボタンにより、ミュートを解除し、画面表示にて発言いただきました。

#### (1) 2021年度事業報告及び収支決算報告について

新井同窓会長より、2021年度事業報告について資料に基づき報告がなされ、木村会計委員より、2021年度収支決算について資料に基づき報告がなされました。

#### ①同窓会報の発行

同窓会報の第40号(4月1日発行)、第41号(10月1日発行)を発行。

#### ②大学への卒業寄付

2020年度卒業生から大学への卒業記念品として、テントを7張贈呈。

#### ③同窓会総会の開催

6月27日(土)オンラインにて同窓会総会を開催。懇親会は開催を取りやめたため費用が生じなかった。

#### ④ホームカミングデーの実施

駿輝祭開催日(初日)の10月30日(土)に父母会との共催講演会をオンライン(YouTube)にて「お天気キャスター」森田正光氏を招き「テレビで言えない天気の話」と題して開催。視聴数は約1437回。例年開催している懇親会は、開催せず。

#### ⑤同窓会ホームページの管理

同窓会員への情報提供ツールとして、ホームページで最新情報や会報誌(PDF)、写真等を随時更新。

#### ⑥支部会補助金

新型コロナ感染症予防のため、支部会を開催せず。

#### ⑦同窓会寄附講座

準会員の応援、大学に対する援助及び同窓会のPRを目的として3授業を同窓会寄附講座として寄付。「インターンシップI」(4単位)「森

林文化I・II」(各2単位)「まちづくり実践」(2単位)

※同窓生が授業を担当する同窓会講座は、開講なしのため支出なし

#### ⑧給付奨学金事業費

同窓生子女を対象とした給付奨学金制度。2021年度は、4件の申請があり、各々入学初年度の授業料の半額を同窓会から給付奨学金として支給。

#### ⑨準会員の各種検定試験受験料補助費

各種検定試験等を受験する学生に対して、受験料の半額を補助。

#### ⑩準会員との交流事業費

キャリアセンター及び各学部が実施する卒業生等を活用した就活支援行事等の実施経費を支援。

#### ⑪広告協賛費

年間を通じて学内(大学会館)で掲出している告知用懸垂幕のうち、卒業生の活躍を紹介する掲示を中心に同窓会から年間4件を掲出

#### ⑫活躍する同窓生への応援費

7~8月に開催された東京オリンピック(カヌースラローム)に出場した、矢澤亜季さん(現代文化学部・2014年卒)、足立和也さん(現代文化学部・2012年退学)、北京パラリンピック(アルペンスキー)に出場した、鈴木猛史さん(文化情報学部・2011年卒)の4名に激励金を贈呈。

#### ⑬活躍する準会員への応援費

該当者なし。

#### ⑭「同窓会人材バンク」構築(予算計上なし)

支出実績なし。

#### ⑮新型コロナウイルス感染症対応学生特別支援費

- ・春学期に1食につき300円の昼食補助を実施(26320食分)
- ・秋学期に1食につき200円の昼食補助を実施(10880食分)
- ・アルコール足踏みスタンド

#### ⑯役員会の開催等

以下のとおり役員会を開催

- ・第1回役員会(2021年6月26日・オンライン会議)
- ・第2回役員会(2021年10月13日・メール会議)
- ・第3回役員会(2021年11月13日・オンライン会議)
- ・第4回役員会(2022年2月19日・オンライン会議)

#### ⑰その他

- ・箱根駅伝の本選出場に伴い、「箱根駅伝」応援募金への寄付  
※臨時的な特別措置として、同窓会予算の予備費と併せ、同窓会全体予算より超過分を捻出し、支出
- ・2010年度から開始した卒業生結婚祝電サービスの2021年度中の利用は、0件(累計34件)
- ・2012年1月から開始された「学費支援基金奨学金」の現時点での貸与者は、1名(2021年度末現在)

#### (2) 2021年度監査報告について

船津丸会計監査委員より、監査報告書のとおり監査は適正に終わり、決算が行われた旨の報告がありました。

#### (3) 2022年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

新井同窓会長より、2022年度事業計画(案)について資料に基づき説明がなされました。続いて、木村会計委員より2022年度収支予算(案)について資料に基づき説明がなされました。

#### (4) 役員改選(案)について

新井同窓会長より、役員改選(案)について資料に基づき説明がなされました。(3. 幹事紹介参照)

各議案について、駿河台大学会場で対面参加していただいている会員の方の票に加えて、はがきによる議決権行使をいただいている会員の方の票、オンライン参加していただいている会員の方からの票を集計し、賛成多数により可決しました。

#### 終わりに【新井同窓会長より】

本日は、初となるハイブリット開催でしたが、ご出席いただきました皆様のご協力あつての開催となり、心から感謝申し上げます。

母校の状況はご報告した通りですが、同窓会会員の皆様への支援なくしては大学の発展もございません。皆様には、同窓会、そして母校への継続したご支援をお願いして、総会を締めさせていただきます。本日はありがとうございました。



## 2022年度ティーチャー・アワード受賞者のご紹介

駿河台大学では、教育・研究・社会貢献活動等において顕著な業績を挙げた本学の学部及びセンター所属教員に対し、「ティーチャー・アワード」の表彰を行っています。

今年度は、以下の6名の専任教員が、本学への多大な貢献が評価され、受賞となりました。



後列左より：山下准教授、古曳教授、久我准教授、井上准教授  
前列左より：山崎准教授、大森学長、石田准教授

### 【問合せ先】

駿河台大学 学務企画課  
TEL : 042-972-1141  
E-mail : gakumu@surugadai.ac.jp

### 【受賞者からのコメント】



いしだ わかな  
石田 若菜 准教授

#### 法学部

専門分野：憲法学

このたびはティーチャー・アワードを賜り、大変光栄に存じます。日頃よりご指導、ご協力いただいているすべての方にこの場をお借りして心より御礼申し上げます。今回の受賞を励みとし、今後もより一層、教育、研究、社会貢献に精進して参ります。



いのうえ さとし  
井上 智史 准教授

#### メディア情報学部

専門分野：デザイン学

このたびはこのような賞をいただき誠にありがとうございます。ゼミナールをはじめとするデザイン教育に関する工夫や研究活動などに関して、広く細やかな評価をいただいたことを大変嬉しく思います。これからも学生と一緒に学んでいきたいと思っております。



こばやし まこと  
古曳 牧人 教授

#### 心理学部

専門分野：犯罪心理学

このたび、このような賞をいただき、大変ありがたく思っております。教務関係の業務を評価していただきましたが、至らない点も多くある中で、何とかやってこられたのは、周囲の皆さまのお陰だと考えております。この場をお借りして感謝申し上げます。



やまさき よしひろ  
山崎 義広 准教授

#### 経済経営学部

専門分野：経営学

このたびはティーチャー・アワードを授与していただき、心より感謝申し上げます。大変光栄に思うと同時に、身の引き締まる思いです。今後とも自分の専門分野である「マーケティング」、「プレイス・ブランディング」と向き合っていきたいと思っております。



くが あきひろ  
久我 晃広 准教授

#### スポーツ科学部

専門分野：スポーツバリオカニクスフィールドホッケー

このような賞をいただき、身に余る光栄です。コロナ禍の混乱の中、学部の先生方、教務課の職員のみならずの多大なるご協力によって、スポーツ科学部が大過なく3年目を迎えることができました。今回の受賞を励みに、今後とも学部業務、教育研究活動に邁進する所存です。



やました しゅんいち  
山下 尚一 准教授

#### グローバル教育センター

専門分野：フランス語・現代思想

ティーチャー・アワードの栄誉にあずかりましたこと、本当にうれしく思っております。いつも支えてくださっている教職員のみならずのおかげです。ありがとうございました。今後とも、なにとぞよろしく願いいたします。

## 同窓会事務局より

【重要】同窓会では、卒業生の「人材バンク」機能を構築していくことに取り組んでいます。準会員(在学生)に対する講座の講師役や就職座談会などのご支援をお願いする際に活用していきたいと考えています。後日、同窓会や大学関係者より、事前に「人材バンク」への登録可否を伺うご連絡をさせていただく場合がございますので、予めご承知いただくとともに登録にご理解ご協力のほどお願いいたします。

### 卒業生子女への学費支援

同窓会では、本学卒業生への還元の一環として、卒業生の子女が母校(駿河台大学)へ入学する場合に、入学金免除制度(大学制度)に加え、同窓会から「初年度授業料の半額」を給付しています。給付型奨学金ですので、返還の義務はありません。

制度の概要は以下のとおりです。

- 支給要件：以下全ての要件を満たす場合に支給対象とします。
  - 本学同窓会員の子女であること。
  - 駿河台大学が設置する学部新たに入学する子女であること。ただし、編入学及び再入学の場合は当制度の対象としない。
  - 本学同窓会員が保証人であり、同窓会員又はその配偶者が当該子女を扶養していること。
- 給付額：入学時初年度に納付すべき授業料の半額相当額を給付します。
  - ※参考 2022年度の場合：367,500円  
(初年度授業料 735,000円の半額)
  - ※入学した初年度に限り給付するものです。継続はありません。
  - ※特別奨学生制度などにより初年度授業料が免除されている場合は対象となりません。
- 手続方法：保証人である同窓会員が申請書に必要事項を記入の上、添付書類を添えて同窓会事務局(学生支援課内)に郵送してください。
- 提出期間：2023年4月1日(土)～4月28日(金)  
振込予定日：6月末日  
※申請書類等、詳細は同窓会ホームページをご覧ください。

### 同窓会報への原稿募集について

1ページでご紹介しているように、同窓会では、卒業生の方からの寄稿を募集しております。本学在学中の思い出や皆様の近況、身近な出来事、お住まいの地域のふるさと自慢等について、以下の要領にて、自由なテーマで寄稿していただけます。

- テーマ(タイトル) 自由
- 字数 800～1200文字程度
- 写真(画像データ)があれば2～3点
- 送付期限：2023年2月10日(金)
- 送付先：〒357-8555 埼玉県飯能市阿須698  
駿河台大学同窓会事務局(学生支援課内)  
TEL 042-972-1101/FAX 042-972-1149  
E-mail dousou@surugadai.ac.jp



読み終えた本・DVD・ゲーム等で募金ができます

## 駿河台大学古本募金

— SDGs 不用品でご支援ください —

皆様から読み終えた本・DVD等をご提供いただき、その査定換金額を駿河台大学に寄付する取組みです。集まった募金は駿河台大学の学費支援基金として大切に役立てます。

————— 皆様のご支援をお待ちしております。

申込受付から査定・報告、および送金は「古本募金きしゃぼん」(運営：嵯峨野株式会社)が担当します。5点から送料無料、宅配業者が伝票をもって引き取りに伺います。古本募金1回のご参加につき、きしゃぼんからも100円が寄付されます。

ご寄付のお申込み (5点以上から送料無料でご自宅からご寄付頂けます)

ホームページより申込 <http://kishapon.com/surugadai/>  
(運営協賛会社の嵯峨野株式会社のホームページとなります)

お電話での申込 ☎ 0120-29-7000

(受付時間 平日9:00～18:00)

オペレーターに団体ID⑭とお伝えください。



皆様のご協力をよろしく願いいたします。

<お問合せ先> 駿河台大学 財務課 TEL : 042-972-1191

E-mail : zaimu@surugadai.ac.jp

### 支部会連絡先

- |        |   |
|--------|---|
| 北海道支部会 | 上見国敏さん (1995年 経済学部卒) ☎0154-24-3811                                |
| 新潟支部会  | 大平一貴さん (1995年 経済学部卒) ☎090-7813-2575<br>barohhira26@gmail.com      |
| 長野支部会  | 今井翔大さん (2015年 法学部卒)<br>nagano.sundai@gmail.com                    |
| 山梨支部会  | 塩澤清志さん (1991年 法学部卒)<br>dousou@surugadai.ac.jp (同窓会事務局宛て)          |
| 群馬支部会  | 桐生 岳さん (1993年 法学部卒) ☎090-8840-6123<br>sundai-gunma@answerwind.com |
| 沖縄支部会  | dousou@surugadai.ac.jp (同窓会事務局宛て)                                 |